

ふれあい つながり かわら版

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120



ブランドカリキュラム作成紹介 ～菅野中学校ブロックの取組①～

本号では、ブランドカリキュラムの作成に着手した菅野中ブロックの取組を紹介します。菅野中ブロック同様、今年度から作成を始めたブロックも多いと思いますので、ぜひ参考にしてください。

子供の実態をもとにした検討

前号(125号)でもお伝えしたとおり、カリキュラムづくりのスタートは、目指す子供像の設定です。目指す子供像を設定する際には、次の二点を踏まえ、子供の実態を正しくとらえることが大切です。

- ① 先生方が子供たちと関わる中で見えてきた子供の良い点や課題、付けたたい力を整理すること
- ② 各種調査等、客観的な情報も参考にすること

菅野中ブロックも、これらの点にこだわって目指す子供像を設定しています。

① 子供との関わりの中で見えてきた実態

菅野中学校ブロックでは、各学校の担当の先生方が中心となって、具体的な子供の実態をもとに、「目指す子供像」や「付けたたい力(資質・能力)」について話し合いました。付けたたい力を付箋に記入し、話し合い

ながら分類・整理し、「優しく素直である」「真面目に自分の役割を果たそうとする」などの良い点や、「基礎学力を付けること」「自尊心を高めること」「自分の考えをまとめ、適切に表現すること」「学習習慣の定着」などの課題が出されました。

「付けたたい力」が書かれた付箋を分類・整理する過程で、子供の具体的な姿や、先生方の「こんな力を付けたたい」という願いが多く出されました。このように、カリキュラムと先生方の願いが結びつくことが大切です。今後、「付けたたい力」に応じた単元を学年ごとに全職員で配列する際も同様です。

② 各種調査等から見えてきた実態

また、菅野中ブロックでは、令和元年度に行われた全国学力・学習状況調査の結果や、昨年度行われた姫路市教職員・児童生徒意識調査の結果も「目指す子供像」や「付けたたい力」を考える上での参考材料としています。

今後、このようにして見えてきた子供の実態や、小中共通の教育目標、さらにはこれからの時代に必要とされる力等も踏まえて「目指す子供像」や「付けた



たい力(資質・能力)」を設定します。そして、夏季休業中のブロック研修において、「付けたたい力」に応じて全教職員で単元を配列する予定です。その取組も、今後の「かわら版」で紹介していきますので、各ブロックの取組の参考にしてください。

ブランドカリキュラムに関する支援

小中一貫教育・ICT教育推進係では、ブランドカリキュラムの作成や活用に関する次のような支援を行っていますので、ご相談、またはご活用ください。

① 指導主事の派遣

ブロックの要請に応じて指導主事が訪問し、ブランドカリキュラムに関する助言や研修等の支援を行います。ブロックの希望や進捗状況に合わせて次のような対応ができます。

- 管理職や担当者への事業説明
- 作成段階における部会や合同研修会での助言
- 合同研修や校内研修等での講話
- カリキュラムをもとにした授業研究会での助言

② 参考資料の提供

ブランドカリキュラム作成の手引書として各校に配布している「姫路市小中一貫教育つながりカリキュラム」等の参考資料を、Googleサイトに掲載し、より手軽に参照できるようにしました(※)。これに伴って、前号でお知らせした Google Classroomでの公開を終了します。